



学習支援サービス



先生マニュアル

先生マニュアル 目次

Chapter.1 ラインズ e ライブラリ for まなびポケットとは

1.1 ラインズ e ライブラリ for まなびポケットでできること	2
1.2 利用場面	2

Chapter.2 操作メニュー

2.1 起動する	3
----------	---

Chapter.3 児童生徒が学習する

3.1 ドリルで学習する	4	ドリル
3.2 自自分で教材を選んで学習する	6	自由学習
3.3 学習したことをふりかえる	8	ふりかえり

Chapter.4 収録教材を活用する

4.1 収録教材を検索して確かめる	9	教材検索
-------------------	---	------

Chapter.5 学習指示ー授業支援へー

5.1 授業支援機能	10	授業支援
------------	----	------

Chapter.6 学習指示ー学習指示へー

6.1 「確認テスト」で理解度を確かめる	12	学習指示
6.2 確認テストから理解状況を確かめる	13	テスト結果詳細
6.3 児童生徒の理解度に沿った課題を出題する	14	自動個別課題
6.4 教材を指定して課題を出題する	15	教材指定学習
6.5 出題した課題の取り組み状況を確かめる	16	学習指示一覧
6.6 特定の児童生徒に課題を出題する	17	グループ管理

Chapter.7 児童生徒の成績を確認する

7.1 クラス・教科ごとに成績を確かめる	18	クラス/教科ビュー
7.2 個人ごとに成績を確かめる	19	個人ビュー

Chapter.8 児童生徒のメッセージを送受信する

8.1 今日のふりかえりの返信をする	20	コミュニケーションへ
8.2 クラス・全児童生徒へメッセージを送信する	21	コミュニケーションへ

先生マニュアルをご覧になる前にお読みください。

- 本文中の  マークは、利用する上でのポイントや便利な利用方法を紹介しています。
- 本文中の  マークは、利用する上での注意点を説明しています。
- 本冊子に掲載された画像・内容等は開発中のものです。予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

ラインズ e ライブラリ for まなびポケットとは

「ラインズ e ライブラリ for まなびポケット」は、小学校 1 年生から中学校 3 年生までの 5 教科 + 中学校実技教科の教材を収録したオンラインの学習支援サービスです。教材は毎年更新され、最新の状態でご利用いただけます。

1.1 ラインズ e ライブラリ for まなびポケットでできること

すべての児童生徒に、 最適で多様な学びを

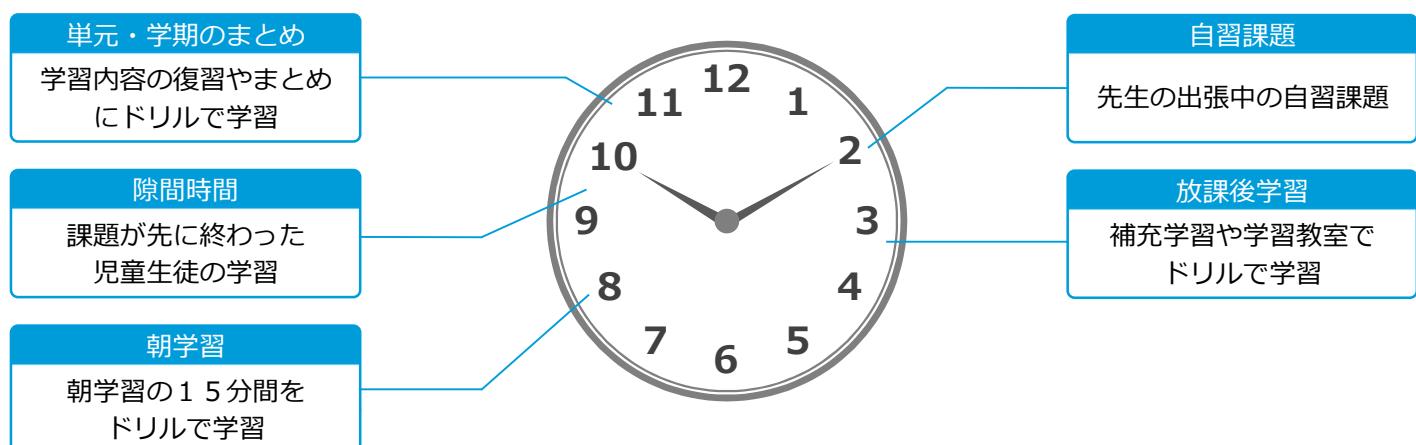
A I 型ドリルを中心に、あらゆる学年・教科の教材を配信し、弱点の克服や自主的・主体的な学びの促進など、児童生徒一人ひとりのニーズに応じた学習を実現します。



先生による学習支援と よりよい授業づくりのツール

児童生徒一人ひとりの学習傾向や取り組み状況、気持ちなどをより的確に把握することができます。それらの学習データを効果的に生かすことのできる機能や教材によって、支援の必要な児童生徒への適切な指導やよりよい授業づくりを実現します。

1.2 利用場面



操作メニュー

ラインズ e ライブライリ for まなびポケットは、児童生徒が学習で利用する「児童生徒メニュー」と先生が児童生徒の学習状況を確認する「先生メニュー」に分かれています。

2.1 起動する

児童生徒メニューを開く



児童生徒メニューでできること

- 先生からの指示（課題）
- 自由学習
 - ・おさらい
 - ・単元学習
 - ・タイルマップ学習
 - ・テスト対策
- ふりかえり
 - ・成績の確認
 - ・今月のふりかえり
 - ・今日のふりかえり
(先生との連絡)



■ 起動方法

- ・まなびポケットの児童生徒 ID でログインし、「ラインズ e ライブライリ for まなびポケット」を起動すると、児童生徒画面が開きます。

先生メニューを開く



先生メニューでできること

- 児童生徒への学習指示
- 児童生徒の学習履歴確認
- 児童生徒とのコミュニケーション
- 教材検索
- 教科書設定



■ 起動方法

- ・まなびポケットの先生 ID でログインし、「ラインズ e ライブライリ for まなびポケット」を起動すると、先生画面が開きます。



先生メニューで教科書設定ができる

- ① 先生メニューから【教科書設定】を選択します。
- ② 【小学校教科書設定】【中学校教科書設定】を切り替え、教科書を設定します。



体育・音楽・美術・読解スキルは教科書設定がありません。

小学校教科書設定		
中学校教科書設定		
<small>※各教科書を選択後に、画面下部の「設定」ボタンをクリックしてください。 ※国語・体育・音楽・美術・読解スキルは教科書設定がありません。</small>		
被科	学年	被科書
算数	小学1年	(株) 新興出版社 「ゆめ」わくわくさんすう1
算数	小学2年	(株) 新興出版社 「ゆめ」わくわく算数2
算数	小学3年	(株) 新興出版社 「ゆめ」わくわく算数3
算数	小学4年	(株) 新興出版社 「ゆめ」わくわく算数4
算数	小学5年	(株) 新興出版社 「ゆめ」わくわく算数5

児童生徒が学習する

児童生徒一人ひとりの理解度に応じて、おすすめの教材を自動構成して出題するA I型ドリルです。弱点の復習はもちろん、得意を伸ばすための教材も出題されるため、児童生徒の自主的・主体的な学びを支援します。

3.1 ドリルで学習する

先生から出題された課題に取り組むとき、児童生徒が学習したい教材を自分で選んで取り組むときの操作手順を紹介します。

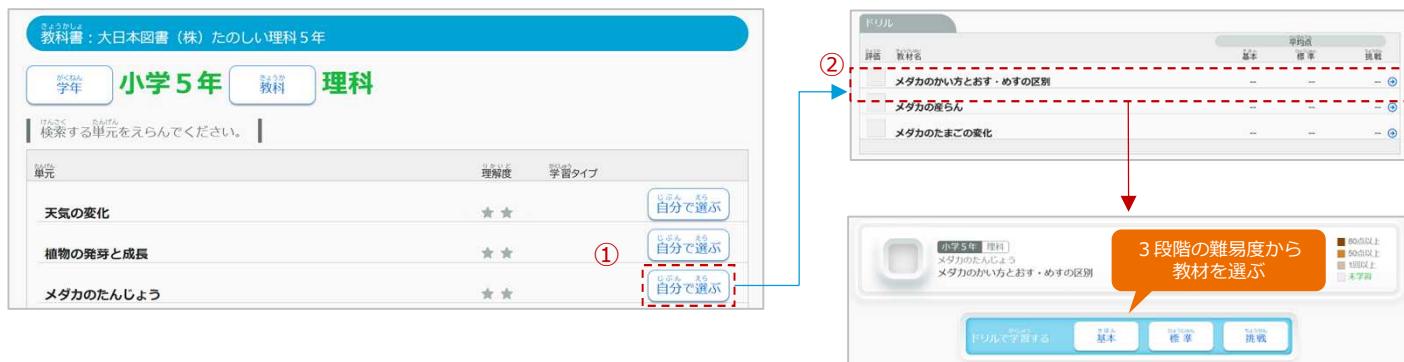
収録場所

【児童生徒メニュー】



学習する教材を開く

これより下は、「ここからはじめよう!!」に進んだ場合の手順（6ページの「単元学習」と同じ）です。



- 【ここからはじめよう!!】を選択し、学習する【学年】【教科】を選びます。学習する単元の【自分で選ぶ】を選びます。
- ドリル一覧の【教材名】【難易度】を選ぶと、ドリルが開きます。

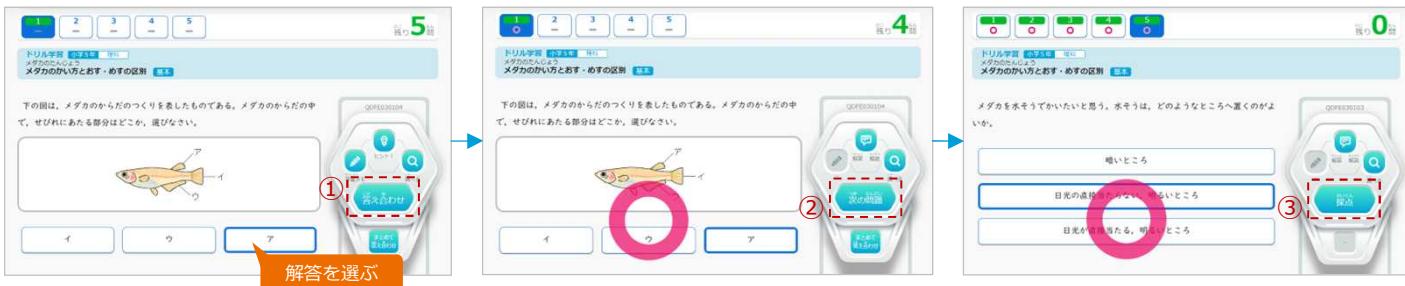
ドリルの画面の見え方を変える



【文字の大小など】を選択すると、問題文の大きさや文字間隔、背景色などを変更できます。

※ 正誤判定の音声は、【音】を【オン】にすることで聴こえるようになります。

ドリルの問題を解く



- ① 選択肢から解答を選び、【答え合わせ】を選択すると、正誤判定されます。
- ② 【次の問題】を選択すると、次の問題が表示されます。※取り組むたびランダムに出題され、選択肢は配置が変わります。
- ③ 全問解き終えたら、【採点】を選択します。

※【採点】を選択しないと学習結果が残りません。ご注意ください。



「ふりかえり」ステージが進んだら

採点後、メダルやイラストの変化を知らせるメッセージが表示されます。



間違えた問題は【リトライ】で学び直し



間違えた問題がある場合は、採点の前に【リトライ】が表示され、選択すると間違えた問題のみもう一度取り組めます。

考え方助ける【ヒント！】



問題を解くためのヒントが表示されます。解答を選ぶときは【×】を選択し、ヒント表示を閉じてください。

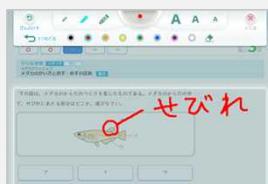


解説教材が収録されている【調べる】



該当単元で学習したことの要点がまとまった解説教材などを開くことができます。問題画面にもどるときは、【×】を選択し閉じてください。

画面に書き込める【学習メモ】



表示される白い枠の中に書き込むことができます。書き込んだ内容は学習履歴として保存されます。解答を選ぶときは【×】を選択し、表示を閉じてください。



間違いを確かめる【解答解説】



問題を解いた後に、【ヒント！】が解答解説に変わります。次の問題に進むときは【×】を選択し、解答解説の表示を閉じてください。

次の教材に取り組む



- ① 【採点】を選択すると学習結果が表示されます。
- ② 【もどる】を選択すると、違う難易度の問題を選ぶことができます。違う教材に取り組むときは【ホーム】を選択して教材を選び直します。
- ③ 【この結果をタイルマップで確認する】を選択し、タイルマップ学習を選択することもできます。



3.2 自分で教材を選んで学習する

収録場所

【児童生徒メニュー】 ▶ 【自由学習】

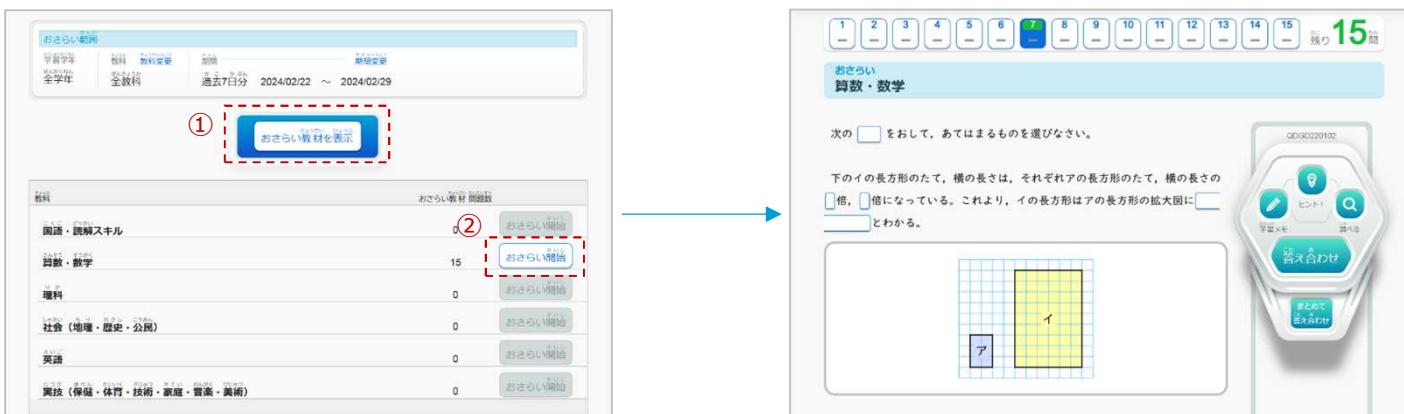
【自由学習】を開く



- ① 【自分で選ぶ】を選択し、【自由学習】を開きます。

Scene
1

【おさらい】で間違いを確かめる

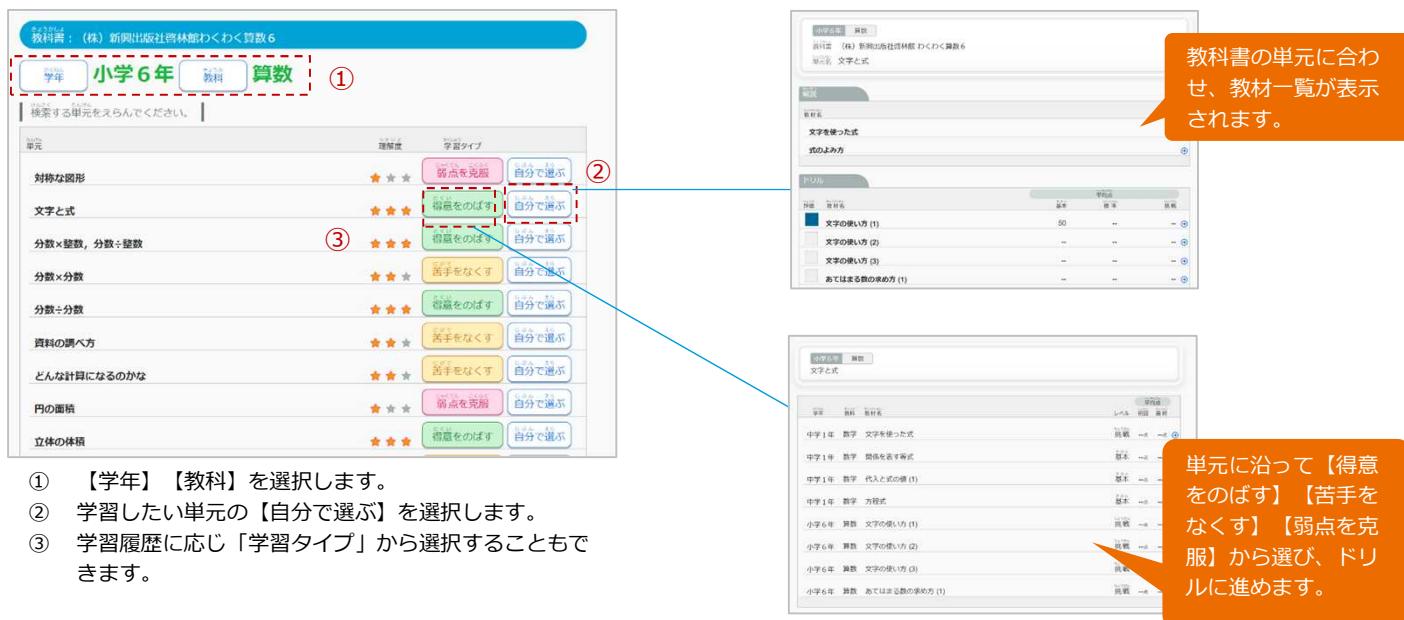


- ① 【教科変更】 【期間変更】を選択し、【おさらい教材を表示】します。
② 取り組みたい教科を選び、【おさらい開始】を選択します。
③ ①で選択した範囲の、リトライができます。

「おさらい」で学習した結果は、学習履歴に反映されません。

Scene
2

【単元学習】で授業に沿って選ぶ



- ① 【学年】 【教科】を選択します。
② 学習したい単元の【自分で選ぶ】を選択します。
③ 学習履歴に応じ「学習タイプ」から選択することもできます。

Scene
3

【タイルマップ学習】で自分の学習位置を把握する



- ① 取り組みたい【教科】を選びます。
- ② 領域・分野を選びます。
- ③ 学習単元名の頭文字を表示したタイルを選び
かかるごとに、画面右が切り替わります。

分数の小数へのなおりし方 (1)

うおくしゅうかいかいすう 0 かい
さいごうこうとん 0 ポイント

次の□をおいて、あてはまるものを選びなさい。
 $\frac{3}{4}$ は□の計算の答えと考えることができます。また、この計算の答えを小数で表すと□となる。
これより、 $\frac{3}{4}$ を小数で表すと□となることがわかる。

④

⑤ **きほん 基本** **ひょうじゅん 標準** **ちょうせん 挑戦**

ためしてみよう！

平方メートルと平方センチメートル



ためしてみよう！で 興味関心を広げる教材選び

【ためしてみよう！】では、ここに表示されている教材の関連教材が出題されます。取り組んだ問題から、それに繋がる新しい学びのきっかけを見つけます。
※表示がない教材もあります。

Scene
4

【テスト対策】で範囲を絞って取り組む



- ① 【学年】【教科】を選びます。
- ② テスト対策を行う教科書範囲のページを入力し、【探す】を選択します。

教材名	理解度	状態	レベル
式が表す数量	★★★	初挑戦	標準
項と係数	★★★	初挑戦	標準
1次式	★★★	初挑戦	標準
項のまとめ方	★★★	初挑戦	標準
文字式の積の表し方	★★★	チャレンジ	挑戦
文字式の累乗の表し方	★★★★	チャレンジ	挑戦
文字式の商の表し方	★★★★	チャレンジ	挑戦
いろいろな数量の表し方	★★★★	チャレンジ	挑戦

- ③ 【教材】を選択すると、おすすめのドリル問題が始まります。

Scene
5

【テーマ学習】

- ① 【教科】【コース】【ステップ】を選択します。



- ② 【教材】を選択すると、ドリルが開きます。



テーマ学習は、理解度に合わせてステップアップしながら学習するコースのためドリルに【学年】【難易度】が表記されません。

▶【テーマ学習】の教材タイトル

テーマ学習 [算数・数学]
No.4計算マスター4（分数）ステップ1 分数のたし算とひき算
分数のたし算

▶【ドリル】の教材タイトル

ドリル学習 [小学校3年 算数]
分数
分数のたし算 基本

Scene
6

【教科書ページから探す】



- ① 検索したい教科書のはじめのページ数を【開始】へ入力し、終わりのページ数を【終了】へ入力して【探す】を選択します。



「テスト対策」は国語、体育、音楽、美術が対象外、
「教科書ページから探す」は、体育、音楽、美術が対象外です。

3.3 学習したことをふりかえる

収録場所

児童生徒が学習履歴を確認したり、ふりかえりを入力して先生へ送信する操作手順を紹介します。学習したことをふりかえり、次の学習につなげることができます。

【児童生徒メニュー】▶【ふりかえり】

【ふりかえり】を開く



- ① 【ふりかえり】を選択します。



Scene
1

学習状況を確認する



今月の学習日数・学習回数・満点回数によって、メダルが表示され、教科ごとの平均点と学習回数が表示されます。

① 今月のメダル



- ① 【くわしく見る】を選択すると、今月のカレンダーが開き、日付を選択すると、取り組んだ教材や得点などが表示されます。

② 今月の学習（平均点・回数）



- ② 【くわしく見る】を選択すると、教科ごとの取り組み状況や「できている」「できていない」ところの傾向を確認できます。

Scene
2

メッセージを入力する



【今日のふりかえり】【メッセージを書く】を選択し、任意のメッセージを入力して、【先生に送信】を選択します。



児童生徒同士のメッセージのやりとりはできません。

収録教材を活用する

ドリルの他に解説教材や確認問題、図版集などさまざまな教材が収録されています。また大型モニタに提示して利用できる教材なども収録されており、先生のわかりやすい授業づくりを支援します。

4.1 収録教材を検索して確かめる

収録されている教材を、「教科書ページ」「単元」「ことば」から検索するときの操作手順を紹介します。教材研究や教材作成に役立ちます。

収録場所

【先生メニュー】▶【教材検索】
▶【単元から探す】

教材を検索する画面を開く

- ① 【教材検索】を選択すると、担当学年の単元一覧の画面が開きます。
 ② 任意の単元を選択すると、対象単元のコンテンツ一覧が表示します。

他の検索方法

単元から以外に、【教科書ページから探す】【ことばで探す】があります。

▶ 教科書ページから探す

探し方を変える

⚠️ 【教科書ページから探す】を利用するには、採択されている教科書の設定(P.3)が必要です。また、体育、音楽、美術、読解スキルは対象外です。

学年→中

教材を開いて確認する



▶ 解説（解説教材／確認問題）

該当単元で学習したことの要点がまとめた解説教材などが開きます。

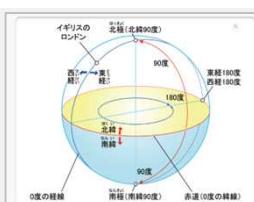
「★」のついた教材（挑戦）には、思考力育成問題が含まれています

▶ ドリル

該当単元のドリルが開き、難易度別に内容を確認できます。

▶ 確認テスト

該当単元の確認テストが開きます。テスト前に出題内容を確認できます。



▶ 図版集

解説教材で利用されている図版を拡大して開くことができます。教材作成などに二次利用できます。

学習指示一授業支援へ

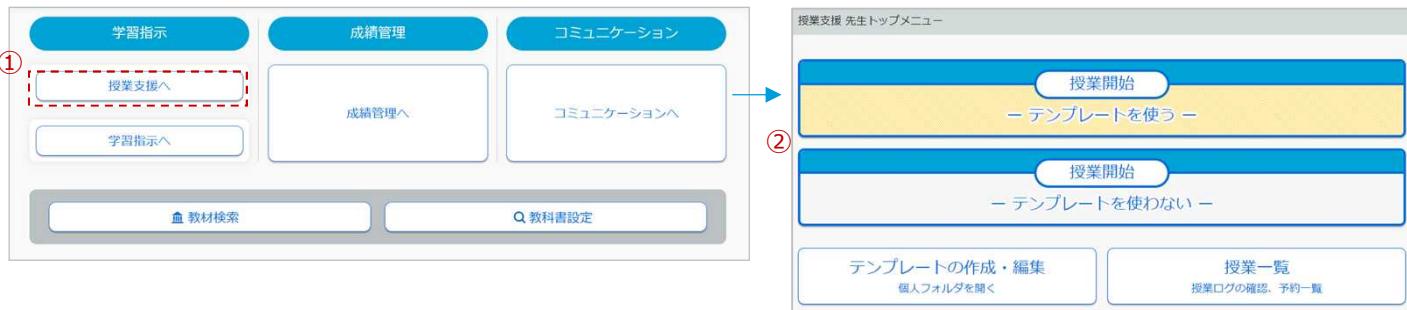
授業内容を理解しているかを確かめる問題を出題し、解答結果から、クラスの理解度を確かめられます。授業の中で刻々と変化する児童生徒の様子を把握しながら授業を進められます。

5.1 授業支援機能

授業内容を理解しているかを確かめる問題を出題します。問題数は一問から設定できます。
解答結果はすばやく集計され、クラスの状況把握に役立ちます。

【先生メニュー】 ▶ 【学習指示】
【授業支援へ】

「授業支援」を利用する



- ① 【授業支援へ】を選択します。

- ② 【テンプレートを使う】または【テンプレートを使わない】を選択します。

【授業開始】—テンプレートを使う—

The screenshot shows the 'Lesson Start' setup screen. It includes fields for 'Target' (set to 'Class All'), 'Lesson Year' (set to 'Elementary 5'), 'Class' (set to 'Support Group'), 'Lesson Template' (with 'Template Selection' highlighted with a red dashed box), 'Name' (set to 'Lesson 2025/01/15 11:00~'), 'Duration' (set to '40 minutes'), 'Start Time' (set to 'Start immediately'), and 'Save' and 'Start' buttons at the bottom.

- ① 【テンプレート選択】を押します。

The screenshot shows the 'Template Selection' screen under 'Line Folder'. It lists various templates categorized by subject and section. The 'Line Folder' tab is selected. Buttons for 'Personal Folder' and 'School-wide Shared Folder' are at the top right. A red dashed box highlights the 'Line Folder' tab and the 'Personal Folder' button.

- ② 【ラインズフォルダ】【個人フォルダ】【校内共有フォルダ】のいずれかを選択します。
③ 【学習年】【教科】を変更し、【テンプレート】を選択します。

The screenshot shows the 'Template Detail' screen for the 'Electric Current' template. It displays sections for 'Section Content' (with a red dashed box around the 'Select' button), 'Section Points' (with a red dashed box around the 'Select' button), and 'Question Check' (with a red dashed box around the 'Select' button). A callout box indicates '1セクション = 3問' (1 section = 3 questions).

- ④ テンプレート詳細から、【セクション】を選択します。
⑤ 問題を確認し、【選択する】を押します。

The screenshot shows the 'Lesson Start' confirmation screen. It includes a summary of the lesson details, student status (準備完了 0, 未完了 20), and a message '準備できていない児童・生徒がいます' (Students who are not prepared). A large orange callout box on the right states '先生からの出題を待つ間、児童生徒メニューは操作制御されています' (During the wait for the teacher's questions, the student menu is controlled). Another callout box at the bottom right says 'eライブラリへのログインや、一斉学習への参加を促してください' (Please encourage login to e-Library and participation in group study).

- ⑥ 【授業開始】を押し、児童生徒へ、eライブラリへの参加を促します。

【授業開始】テンプレートを使わないー

実施中の授業を終了し、児童生徒の操作制御を解除したいとき

授業設定

授業の設定を行います

対象: クラス全員 (○グループ) 学年: 小学6年 クラス: 3組

授業範囲 (1) 範囲選択: 未選択

名称: 授業 2024/09/27 08時~

時間: 40分

開始時刻: ●すぐに始める ○開始時刻を指定 時: 分:

③ 一時保存 授業開始

① 【範囲選択】を押します。

単元選択

教科書: 学校図書(株) みんなと学ぶ 小学校算数6年

学年: 小学6年 教科: 算数

単元名

- 対称
- 文字と式
- 分数と整数のかけ算とわり算
- 分数×分数
- 分数÷分数
- 資料の整理
- ならべ方と組み合わせ方
- 小数と分数の計算
- 分数倍の計算

② 【学年】【教科】を選択し、出題する単元を選択します。

③ 【授業開始】を選択します。

授業実績
中学2年7組 0人 授業実行時間 11:35 授業終了時間 2024/02/28 11時~

残り時間 12:05

生徒準備状況 | 準備完了 0人 未完了 21人 (○準備できていない児童・生徒がいます)

すぐに授業終了

eライブラリへのログインや、一斉学習への参加を促してください。

- ④ 児童生徒へ、eライブラリへの参加を促します。
 ⑤ 【生徒準備状況】で準備完了になっていることを確かめ、【理解度チェック実行】を選択します。

先生からの出題を待つ間、児童生徒メニューは操作制御されています。

「テンプレートを使う／使わない」いずれでも、児童生徒画面は同じです。

学習実績
小学校4年 サポート: 1人 おさらい問題: 前回の復習をしよう!

単元: わり算の筆算(1)-わる数が1けた

学習実績
筆算が1桁数や2桁数で筆算が2桁数や3桁数の解法の計算の仕方
筆算、掛け算、割り算の問題の関係
数と計算の日常生活への利用
筆算の計算が複雑にでき、用いること

教材
EBOOK サポート わり算の筆算(1)-わる数が1けた
(270+9)の複数
(270+9)の複数
(42+3)の計算
(43+3)の計算

⑥

- ⑥ 理解度を確認したい学習要素、教材を選択します。
 ⑦ 【この問題で理解度チェック】を選択します。

【児童生徒メニュー】

eライブラリへのログインや、一斉学習への参加を促してください。

先生からの指示があったら押してください

確認テスト 小学4年 算数
わり算の筆算(1)-わる数が1けた

次の筆算をして、□に正しい答えを入れなさい。
 $2 \overline{) 8 0 2}$

63 あまり 1 64 あまり 1 67 あまり 1

出題内容を確認できる

⑦

【児童生徒メニュー】

確認テスト 小学4年 算数
わり算の筆算(1)-わる数が1けた

次の筆算をして、□に正しい答えを入れなさい。
 $2 \overline{) 8 0 2}$

答え □

「わからない」を選択できる

- ⑧ 児童生徒が【先生の指示があつたら押してください】を押すと、問題が反映されます。

【理解度チェック】を行う

授業の記録をメモに残せる

正解率 67% 401

②

【授業終了】

終了時には必ず選択し、児童生徒の操作制御を解除する

すぐに授業終了

- ① 児童生徒の解答は、理解度チェックモニターに反映されていきます。
 ② 全員の解答が終わったら、【理解度チェックを終了】します。
- ③ 【すぐに授業終了】あるいは授業終了時間に表示される【このまま授業終了】を必ず選択します。

学習指示一学習指示へ

クラス・個人の理解度を確かめる「確認テスト」や理解度に応じた課題を出題することができます。※ 開始済みの課題は、削除できません。

6.1 「確認テスト」で理解度を確かめる

児童生徒へ「確認テスト」を出題するときの操作手順を紹介します。
クラス・個人の理解度の確認に役立てることができます。

収録場所

【先生メニュー】▶【学習指示】
▶【学習指示へ】

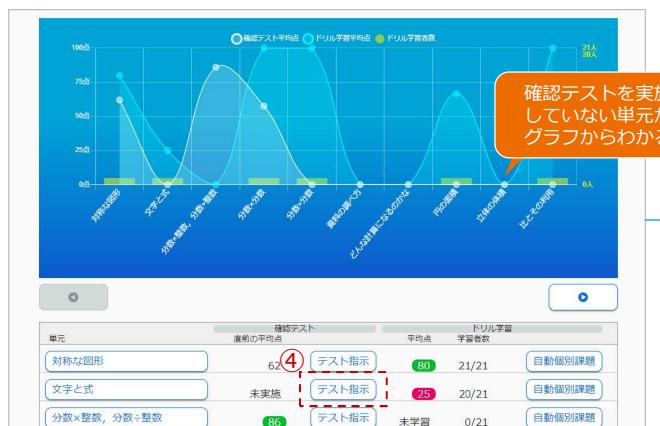
「確認テスト」を出題する



- ① 【学習指示へ】を選択すると、クラスの学習状況を確認する画面が開きます。

- ② 出題する【学年】【クラス】を選択します。
- ③ 確認テストを出題する【教科】を選択します。

先生アカウントの【担当学年・クラス】を設定している場合は、②の操作は必要ありません。



④ 確認テストを実施する単元の【テスト指示】を選択します。

⑤ 指示内容を設定します。実施時間などを設定し、【出題する】を選択すると、児童生徒へ出題されます。

確認テストの問題内容を確認できる

対象	<input checked="" type="radio"/> クラス全体 <input type="radio"/> 前回の結果に応じて 小学6年2組
名称	確認テスト 文字と式 ※40文字まで
単元	<input checked="" type="radio"/> 問題を確認 新しい算数6 文字と式
出題モード	<input checked="" type="radio"/> 一斉学習モード <input type="radio"/> 期限設定モード
時間	40分
開始時刻	<input checked="" type="radio"/> すぐに始める <input type="radio"/> 開始日時を指定 2022/06/22 時 分
操作制御	<input type="checkbox"/> 児童生徒は出された教材を終えるまで「先生の指示」以外の操作ができない

※ 出題された確認テストを児童生徒が取り組む手順は、P. 4をご覧ください。

⚠️ 開始済みの課題は、削除できませんのでご注意ください。



「出題モード」を使い分ける…「一斉学習モード」「期限設定モード」

出題モード 一斉学習モード 期限設定モード

時間 40分

開始時刻 すぐに始める 開始日時を指定
2025/03/25 時 分

出題モード 一斉学習モード 期限設定モード

開始時刻 すぐに始める 開始日時を指定
2025/03/25 時 分

提出期限 2025/03/25

- 【一斉学習モード】は【時間】を5~120分より5分単位で選択します。【期限設定モード】は【提出期限】を日付で選択します。
- どちらの出題モードでも、【開始日時を指定】できます。開始日時までは予約状態となり、その間のみ、編集、削除ができます。

6.2 確認テストから理解状況を確かめる

確認テストの結果からクラスの理解状況を確認できます。「学習指示」「成績管理」どちらからでも見られますが、ここでは、「学習指示」からの操作手順を紹介します。

収録場所

【先生メニュー】▶【学習指示】
▶【学習指示へ】▶【クラス概況】

単元ごとに理解状況をグラフで確かめる



- ① 【学習指示へ】を選択すると、クラスの学習状況を確認する画面が開きます。
② 成績を確認する【学年】【クラス】【教科】を選択します。



- ③ 成績を確認する【単元】を選択すると、確認テストとドリルの実施状況が表示されます。
④ 【テスト結果詳細】を選択します。



学習要素ごとの理解度がグラフで表示されます。



「成績管理」で確認テストの結果を見る

【クラスビュー】または【教科ビュー】を選択し、教科、クラス、単元名を選択すると、【テスト結果グラフ】から、確認テストの理解状況を確認できます。



6.3 児童生徒の理解度に沿った課題を出題する

確認テストやドリルの学習結果から、個人の学習履歴に応じて課題を自動構成します。課題タイプは、7つから先生が選べます。

収録場所

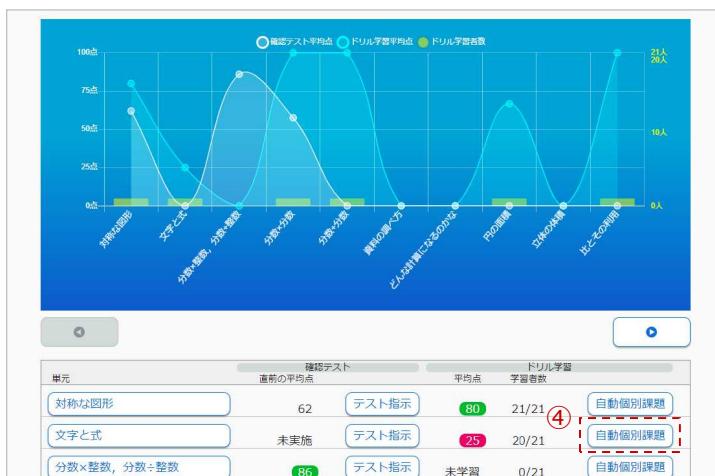
【先生メニュー】▶【学習指示へ】
▶【自動個別課題】

「自動個別課題」を出題する



- ① 【学習指定制】を選択すると、クラスの学習状況を確認する画面が開きます。
- ② 出題する【学年】【クラス】を選択します。
- ③ 自動個別課題を出題する【教科】を選択します。

先生アカウントの【担当学年・クラス】を設定している場合は、②の操作は必要ありません。



- ④ 課題を出題する単元の【自動個別課題】を選択します。

⚠ 開始済みの課題は、削除できませんのでご注意ください。

⑤ 課題作成画面。左側には「対象 小学6年 1組」、「名称 課題 文字と式」、「※40文字まで」があります。右側には「課題タイプ」の選択肢が表示されています。選択肢の中から「調整型自動個別」を選択します。

⑥ 指示内容を設定します。実施時間などを設定し、「出題する」を選択すると、児童生徒へ出題されます。

- ⑤ 【課題タイプ】を選びます。

- ⑥ 指示内容を設定します。実施時間などを設定し、【出題する】を選択すると、児童生徒へ出題されます。



課題タイプ（一例）…「調整型自動個別」児童・生徒の理解度を総合的に判断し、各自に適した課題タイプで出題

出題範囲選択画面。左側には「出題範囲 単元学年 小学5年 理科 電流と電磁石」があります。右側には各生徒の理解度別に課題タイプが自動的に構成されています。

生徒	理解度	合計 登録数	解説 基本	標準	挑戦	復習 予習	その他		
伊藤 優一	苦手	6	1	0	4	0	1	0	0
小林 遼雄	苦手	4	0	0	4	0	0	0	0
北野 健太	苦手	6	1	0	4	0	1	0	0
加藤 進	得意	4	0	2	0	2	0	0	0
木谷 大輔	苦手	4	0	0	4	0	0	0	0
藤本 卓	得意	4	0	2	0	2	0	0	0
藤本 幸雄	苦手	4	0	0	4	0	0	0	0
山形 崇	苦手	6	1	0	4	0	1	0	0

出題範囲詳細画面。左側には「出題範囲 学年 小学5年 理科 電流と電磁石」があります。右側には各生徒の課題タイプが詳細に表示されています。

氏名	課題タイプ	合計登録数	解説 基本	標準	挑戦	復習 予習	その他
伊藤 優一	苦手	6	1	0	4	0	0

児童生徒一人ひとりの理解度に応じ、単元内、単元外から、解説教材やドリルを自動構成します。

6.4 教材を指定して課題を出題する

児童生徒へ学年や教科、教材を指定して課題を出題するときの操作手順を紹介します。一斉授業での利用はもちろん、期日を指定して課題を出題することもできます。

収録場所

【先生メニュー】 ▶ 【学習指示へ】

【教材指定学習】

課題を出題する画面を開く



- ① 「学習指定期間」を選択すると、クラスの学習状況を確認する画面が開きます。
② 「学習指定期間」を選択します。

⚠ 開始済みの課題は、削除できませんのでご注意ください。

出題する学年・クラスを指定し、出題モードを設定する

この画面は「課題作成設定」の初期画面です。左側には「対象: 学年: 小学6年 クラス: 3組」、「名称: 【週末課題】理科 水よう液の性質」、「教材: 教材を選択 (教材数: 0 (ドリル教材: 0))」、「出題モード: 一斉学習モード (期限設定モード)」、「時間: 40分」、「開始時刻: 2024/03/13」、「操作制御: 児童生徒は出題された教材を終えるまで「先生の指示」以外の操作ができない」があります。右側にはオレンジ色の丸で「出題対象に「グループ」があります」と表示されています。下部には「キャンセル」「一時保存」「出題する」ボタンがあります。②番の赤い枠で囲まれた「出題モード」ボタンが選択されています。③番の赤い枠で囲まれた「教材を選択」ボタンが選択されています。

教材を選び、課題を出題する



- ① 「教材を探す」を選択します。
② 出題する【学年】【教科】【単元】を選択します。
③ 任意のドリルと解説にチェックをつけ、「追加する」を選択します。



出題前に教材内容を確認する

【ドリル】の教材名を選択すると、教材内容や解答解説などを確認できます。教材番号を選択すると、すべての難易度の問題内容を確認できます。

【解説】の教材名を選択すると、解説教材と確認問題の内容を確認できます。



- ④ 【決定】を選択し、【出題する】を選びと児童生徒へ課題が出題されます。

【学習レベル】の設定

- 【固定しない】…児童生徒が自分で難易度を選んで学習できます。
- 【基本／標準／挑戦】…選んだ難易度のドリルを出題できます。
- 【個別選択】…教材ごとに難易度を設定できます。
- 【全員に同じ問題を出題する】…【固定しない】以外で選択できます。

6.5 出題した課題の取り組み状況を確かめる

出題した確認テストや課題の取り組み状況（進捗）を確認するときの操作手順を紹介します。

収録場所

【先生メニュー】 ▶ 【学習指示へ】
【学習指示一覧】

出題した課題の一覧を開く



- ① 【学習指示へ】を選択すると、クラスの学習状況を確認する画面が開きます。
② 【学習指示一覧】を選択します。

- ③ 【学年】 【クラス】 【期間】を選択すると、出題した課題が一覧表示されます。課題を選択すると、児童生徒の取り組み状況が一覧でリアルタイムに確認できます。
④ 児童生徒の名前を選択すると、個人別に取り組み状況を確認できます。

学年	教科	教材名	進行度	正答率	時間(分)
ドリル	中学1年	理科 身近な植物の観察	0 / 12	-	-
ドリル	中学1年	理科 身近な動物の観察	5 / 5	100%	1分
解説	中学1年	理科 身近な植物の観察	0 / 1	-	-

6.6 特定の児童生徒に課題を出題する

特定の児童生徒でグループを作成するときの操作手順を紹介します。特別支援学級や少人数指導で課題を出題するときに利用できます。
※ 課題の出題方法は、P.9～14をご覧ください。

収録場所

【先生メニュー】 ▶ 【学習指示へ】

▶ 【グループ管理】

グループを作成する

学習指示	成績管理	コミュニケーション
授業支援へ	成績管理へ	コミュニケーションへ
① 学習指示へ		

- ① 【学習指示へ】を選択すると、クラスの学習状況を確認する画面が開きます。
 - ② 【グループ管理】を選択します。

学年 小学6年 クラス 2組 期間 2020年度年 ②

学習指示一覧 現在の指示状況:なし 教科別学習指示へ

教科	標準テスト平均点	ドリル学習平均点	ドリル学習回数
算数	45	70	10回
国語	35	40	5回
理科	80	65	15回
社会	50	60	10回
英語	40	55	10回

学習指示回数 標準テスト平均点 実施者数 平均点 学習回数 平均学習時間(分)

教科	指示回数	標準テスト平均点	実施者数	平均点	学習回数	平均学習時間(分)
算数	19	43.5	3/21	73.2	21/21	32.5
国語	3	34.7	2/21	41.0	12/21	3.3

③ 新規作成 MYグループ一覧
並び替える グループ名検索

グループ名	人数

- ③ 【新規作成】を選択すると、グループ編成画面が開き、左側に児童生徒の名前の一覧が表示されます。

※20文字以内

グループ名																													
小学6年 <input type="button" value="学年選択"/> 2組 <input type="button" value="クラス選択"/>																													
人数 0人																													
<input type="checkbox"/> 全選択 <table border="1" style="float: right; margin-top: -20px;"> <tr> <th colspan="4">□全選択</th> </tr> <tr> <th>出席登録</th> <th>ログインID</th> <th>氏名</th> <th></th> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>1</td> <td>20150021</td> <td>ライズ 韶清楚</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>2</td> <td>20150022</td> <td>ライズ 韶清楚</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>3</td> <td>20150023</td> <td>ライズ 大用</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>4</td> <td>20150024</td> <td>ライズ 沙葉</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>5</td> <td>20150025</td> <td>ライズ 雄</td> </tr> </table>		□全選択				出席登録	ログインID	氏名		<input type="checkbox"/>	1	20150021	ライズ 韶清楚	<input type="checkbox"/>	2	20150022	ライズ 韶清楚	<input type="checkbox"/>	3	20150023	ライズ 大用	<input type="checkbox"/>	4	20150024	ライズ 沙葉	<input type="checkbox"/>	5	20150025	ライズ 雄
□全選択																													
出席登録	ログインID	氏名																											
<input type="checkbox"/>	1	20150021	ライズ 韶清楚																										
<input type="checkbox"/>	2	20150022	ライズ 韶清楚																										
<input type="checkbox"/>	3	20150023	ライズ 大用																										
<input type="checkbox"/>	4	20150024	ライズ 沙葉																										
<input type="checkbox"/>	5	20150025	ライズ 雄																										

グループ編制をする

※20文字以内

グループ名	にじいろ学級
小学6年 学年選択 2組 クラス選択 人数 0人	
<input type="checkbox"/> 全選択	
<input checked="" type="checkbox"/> 全選択	
<input type="checkbox"/> ログインID	
<input type="checkbox"/> メール	
<input type="checkbox"/> 出席確認用	
<input type="checkbox"/> ログインID	
<input type="checkbox"/> メール	

- ① グループ名を入力し、対象の児童生徒が所属する【学年選択】【クラス選択】を選択します。
② 左側の児童生徒一覧の対象の児童生徒にチェックをつけ、【→】を選択すると、右側の児童生徒一覧へ移動します。
③ 【1件登録】を選択すると、グループができあがります。続けてグループを作成する場合は、【連続登録】を選択します。

グループ名
にじいろ学級
※20文字以内

小学6年
学年選択
2組
クラス選択
人數 **3人**

全選択
全選択

出席番号	ログインID	氏名
<input type="checkbox"/> 4	20150024	ライズ 沙菜
<input type="checkbox"/> 5	20150025	ライズ 優

学年	クラス	出席番号	ログインID	氏名
小学6年	2組	1	20150021	ライズ 輝陽
小学6年	2組	2	20150022	ライズ 詩皓
小学6年	2組	3	20150023	ライズ 大翔

(3)

連携登録
1件登録
キャンセル



学年を越えてグループを編成できる

【学年選択】 【クラス選択】で学年・クラスを指定すると、学年を越えてグループを編制することができます。

※2次学年区分

グループ名	にじいろ学級
小学6年 生年選択	2008 クラス選択
<input checked="" type="checkbox"/> 全選択	
<input type="checkbox"/> 全選択	
□ 1	201501001 ラインズ 照理
□ 2	201502022 ラインズ 舞海
□ 3	201503003 ラインズ 大樹
□ 4	201504004 ラインズ 素美

▶ 学年選択

▶ クラス選択

クラスを選んで下さい。

クスメを選んで下さい。

1組	2組	3組
4組	5組	6組

児童生徒の成績を確認する

児童生徒のクラス・個人の理解状況や学習状況を詳細に確認することができます。授業づくりや個別指導に役立つことができます。

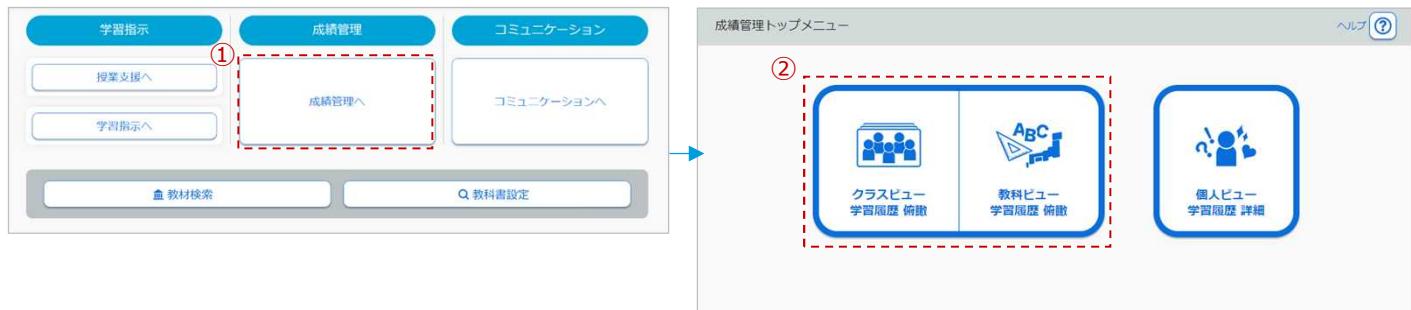
7.1 クラス・教科ごとに成績を確かめる

児童生徒の学習履歴を俯瞰で確認できます。クラスごと、または教科ごとに、理解状況を、必要な観点から全体的にすばやく把握でき、授業改善につなぐ情報を引き出せます。

収録場所

【先生メニュー】▶【成績管理へ】
▶【学習履歴 俯瞰】

成績管理の画面を開く



① 【成績管理へ】を選択します。

② 【クラスビュー】または【教科ビュー】を選択します。

「学習履歴 俯瞰」で全体の理解状況を把握する

ここでは、「学習履歴 俯瞰」の【教科ビュー】を選択したときの流れを紹介します。

①

学年	中学1年	クラス	全て					
学習年	中学1年	教科	-					
期間	2023年2月							
教科	数学	確認テスト実施数	平均点	ドリル学習実施数	平均点	確認教材確認問題実施数	平均点	学習者数
	20/105	85.4点	20/105	90.2点	6/105			
国語	未実施	-	未学習	-	未学習	-	未学習	-
英語	未実施	-	未学習	-	未学習	-	未学習	-
理科	20/105	71.9点	未学習	-	未学習	-	未学習	-
地理	未実施	-	未学習	-	未学習	-	未学習	-

②

③

④

⑤

⑥

- ① 【教科ビュー】を選択し、【学年】【学習年】【期間】を変更します。
- ② 【教科】を選択します。
- ③ クラス別概況を表示し、詳細を見たい【クラス】を選択します。
- ④ 単元別概況を表示し、【単元名】を選択します。

- ⑤ 「単元 学習結果（クラス全体）」を表示します。
- ⑥ 【個人一覧】を選択します。

個人一覧

氏名	実施回数	平均点	最終実施日	学習教材			ドリル学習実施数	平均点	最終学習者数
				初回 平均点	最終 平均点	標準			
伊藤 碧	1	25	2024/02/22	8/9	80	90	100	100	100
井上 朝陽	1	57	2024/02/22	8/9	82.5	82.5	95	95	95
加藤 翠	1	75	2024/02/22	8/9	66.7	66.7	90	90	90
木村 晃那	1	94	2024/02/22	8/9	90	90	96.7	96.7	96.7
小林 開翔	1	88	2024/02/22	7/9	90	90	100	100	100
佐々木 律	1	50	2024/02/22	8/9	85.8	91.5	100	100	-
佐藤 悠仁	1	69	2024/02/22	8/9	-	-	75	100	-
清水 風	1	94	2024/02/22	7/9	-	-	-	67.2	98.6
鈴木 淩	1	88	2024/02/22	7/9	94.3	94.3	-	-	-

- ⑦ 確認テストとドリル学習の取り組み詳細が見られます。
- ⑧ ソート機能で、クラス内で平均点順などに並べ替えができます。

一人ひとりの学習履歴詳細が分かる



- ① 左の画面で【氏名】▶【教材名】を選択すると、一人ひとりの「ドリル結果詳細」を見られます。
- ② 5ページの、児童生徒が自分の学習結果を見るときと同じ内容です。

※成績管理>個人ビュー からでも見られます。

7.2 個人ごとに成績を確かめる

児童生徒の学習履歴を個人別に確認することができます。個人の成績や取組姿勢、学習行動を詳細に把握できるため、個別にフォローが必要な児童生徒の指導に役立ちます。

収録場所

【先生メニュー】▶【成績管理へ】

▶【学習履歴 詳細】

成績管理の画面を開く

The screenshot shows the 'Grade Management' screen. On the left, there's a navigation menu with '学習指示' (Learning Instructions), '成績管理' (Grade Management) highlighted with a red circle, and 'コミュニケーション' (Communication). Below these are '授業支援へ' (Lesson Support), '学習指示へ' (Learning Instruction), '教材検索' (Search Materials), and '教科書設定' (Textbook Settings). On the right, the 'Grade Management Top Menu' shows three icons: 'クラスビュー 学習履歴 簡単' (Class View Learning History Simple), '教科ビュー 学習履歴 簡単' (Subject View Learning History Simple), and '個人ビュー 学習履歴 詳細' (Individual View Learning History Detailed), with the third one also highlighted with a red circle.

① 【成績管理へ】を選択します。

② 【個人ビュー】を選択します。

Scene
1

「教科別履歴」を確かめる

The screenshot shows the 'Subject-by-Subject Record' screen. At the top, it displays filter options: '学年 小学5年 クラス 3組 氏名: -' and '学習学年 小学5年 教科 全て 期間 2023年度'. Below this are tabs for '教科別履歴' (Subject Record), '取組姿勢' (Engagement), and '学習行動' (Learning Action). A red box highlights the '教科別履歴' tab. The main area shows a table of student records with columns: 氏名 (Name), 実行回数 (Number of Implementations), 平均点 (Average Score), and 学習回数 (Number of Learning Sessions). A red box highlights the '平均点' column. To the right, a detailed view of a student record is shown with various metrics like '出席番号 (登録)' and '出席番号 (昇順)'.

① 【学年】【クラス】を選びます。

② 【学習学年】【教科】【期間】の変更、絞り込みができます。

③ 【並び順】を変更できます。平均点、学習回数などの観点で並び替え、詳細を見る児童生徒名を選択します。

④ 「教科別概況」を開きます。各教科ごとの取組み状況や、学習の傾向が表示されます。

Scene
2

「取組姿勢」を確かめる

The screenshot shows the 'Engagement Status' screen for the '2022年度' (2022 Academic Year). It features tabs for '教科別履歴' (Subject Record), '取組姿勢' (Engagement), and '学習行動' (Learning Action). A red box highlights the '取組姿勢' tab. Below the tabs is a button 'CSV'. The main area displays a table with columns: 月 (Month), 実行回数 (Number of Implementations), 実行率 (Completion Rate), 自由度 (Freedom Degree), 化学試験結果 (Chemical Test Result), 電子書籍実施回数 (Number of E-book Implementations), 電子書籍実施率 (E-book Completion Rate), 締切期限 (Deadline), めくった数 (Number of Flips), コミュニケーション回数 (Communication Number of Times), and ログイン回数 (Login Number of Times). An orange callout box points to the table with the text '児童生徒の学習意欲が読み取れる' (The learning motivation of students can be read).

- 【取組姿勢】を選択すると、ドリルの実施率やコミュニケーションの回数、ログイン回数など、年度内の取り組み姿勢を確認できます。

Scene
3

「学習行動」を確かめる

The screenshot shows the 'Learning Action' screen for the '2022年度' (2022 Academic Year). It features tabs for '教科別履歴' (Subject Record), '取組姿勢' (Engagement), and '学習行動' (Learning Action). A red box highlights the '学習行動' tab. Below the tabs is a button 'CSV'. The main area displays a table with columns: 月 (Month), 08時～ (08:00~), 11時～ (11:00~), 14時～ (14:00~), 17時～ (17:00~), 20時～ (20:00~), 22時～ (22:00~), 0時～ (00:00~), 05時～ (05:00~), and 時向 (Orientation). An orange callout box points to the table with the text '学習時間帯を確認できる' (You can check the study time period).

- 【学習行動】を選択すると、学習した時間帯を確認できます。学習時間帯を把握し、生活面の指導に生かすことができます。



クラス全体の「取組姿勢」「学習行動」の傾向を見る

The screenshot shows the 'Class Analysis' screen. It features tabs for '教科別履歴' (Subject Record), '取組姿勢' (Engagement), and '学習行動' (Learning Action). A red box highlights the '取組姿勢' tab. Below the tabs is a button 'CSV'. The main area displays a table with columns: 月 (Month), 伊藤 誠 (Ito Sei), 伊藤 智 (Ito Tomo), 伊藤 智 (Ito

- 個人名を選択する前の「クラス全体」のままでも【教科別履歴】【取組姿勢】【学習行動】を選び変えられ、クラス全体で見ることもできます。

The screenshot shows the 'Class Analysis' screen. It features tabs for '教科別履歴' (Subject Record), '取組姿勢' (Engagement), and '学習行動' (Learning Action). A red box highlights the '取組姿勢' tab. Below the tabs is a button 'CSV'. The main area displays a table with columns: 月 (Month), 伊藤 誠 (Ito Sei), 伊藤 智 (Ito Tomo), 伊藤 智 (Ito

児童生徒のメッセージを送受信する

児童生徒とメッセージのやり取りができるコミュニケーションは、児童生徒の意欲関心や気持ちの把握にご利用いただけます。また、教室から離れた場所にいる児童生徒とのコミュニケーションツールとしても役立ちます。

8.1 今日のふりかえりの返信をする

児童生徒から送信されてきたメッセージの内容確認と返信するときの操作手順を紹介します。児童生徒が興味関心をもったことや、気づいたことなどを把握でき、個別フォローもできます。

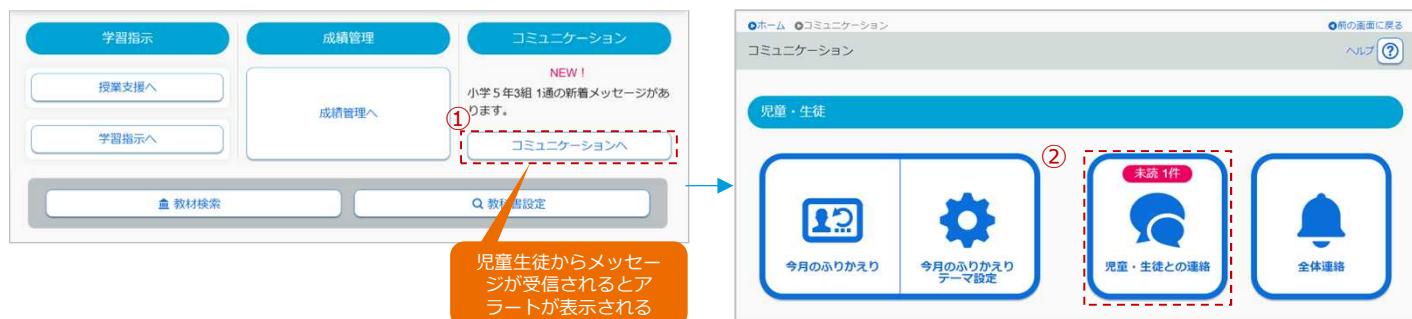
収録場所

【先生メニュー】

▶ 【コミュニケーションへ】

▶ 【児童・生徒との連絡】

メッセージの送受信画面を開く



- ① 【コミュニケーションへ】を選択します。
- ② 【児童・生徒との連絡】を選びます。

⚠️ 送信したメッセージは削除できませんので、【送信】をするときは、ご注意ください。

Scene
1

メッセージを個別に返信する



- ① 対象の児童生徒名を選択し、メッセージを確認します。
- ② 【メッセージ作成】を選択します。
- ③ 【スタンプ】 【タイトル】 【本文】を入力し、【送信】を選択します。

⚠️ 児童生徒への返信内容は、校内の全ての先生から確認できます

Scene
2

未読メッセージを一斉に返信する



- ① メッセージを返信する児童生徒にチェックをつけて選択します。
- ② 【一括送信】を選択すると、メッセージ入力画面が開きます。
- ③ 【スタンプ】 【タイトル】 【本文】を入力し、【一括送信】を選択します。

先生がメッセージを開いたときに、児童生徒の画面に通知が出る

先生が個別にメッセージを開いたり、【一括既読】をしたりすると、児童生徒の画面に【みました！】が表示されます。

8.2 クラス・全児童生徒へメッセージを送信する

クラス・全児童生徒へメッセージを送信するときの操作手順を紹介します。
児童生徒の学習面・生活面のフォローや連絡に役立ちます。

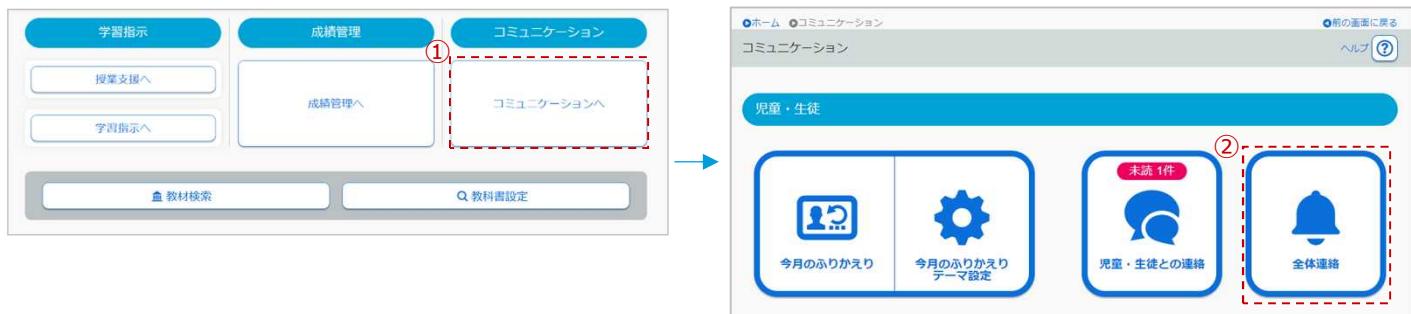
収録場所

【先生メニュー】

▶【コミュニケーションへ】

▶【全体連絡】

メッセージを送信する画面を開く



- ① 【コミュニケーションへ】を選択します。
② 【全体連絡】を選択します。

メッセージの送信先を設定する

The screenshot shows the '全体連絡' screen where a new message is being created. Step ① highlights the '新規作成' (New Creation) button. Step ② highlights the '学年' (Grade) dropdown menu. An arrow points to a modal window titled '学年を選んでください.' (Please select grade.) which lists grades from '小学1年' to '小学6年'. The '全学年' (All Grades) button is highlighted with a red dashed box and a red circle labeled ②. Below the modal is a note: '一度送信したメッセージは変更・削除できません。' (Once sent, messages cannot be changed or deleted.)

① 【新規作成】を選択します。
② 【学年】から【全学年】を選択します。

【学年】 【クラス】を選択すると、学年・クラス単位に送信することができます。
※ グループには、メッセージを送信できません。

メッセージを作成する

The screenshot shows the 'メッセージ作成' (Message Creation) screen. Step ① highlights the 'タイトル' (Title) input field. Step ② highlights the '送信' (Send) button. A note at the bottom states: '送信したメッセージは削除できませんので、【送信】をするときは、ご注意ください。' (Messages sent cannot be deleted, so please be careful when sending.)

① 【タイトル】【本文】入力します。
② 【送信】を選択すると、全児童生徒へ同じメッセージを送信できます。

① 児童生徒が先生のメッセージを受信すると、【ふりかえり】の下部に【先生からのメッセージあり】と通知されます。
② 【内容を見る】を選択すると、メッセージが開きます。



送信したメッセージは削除できません
ので、【送信】をするときは、ご注意
ください。